

土壌検査結果の概要

ブロック	調査地点	主な廃棄物	含有量	溶出量
全体			<ul style="list-style-type: none"> <li>鉛が含有量基準超過は 10 ヶ所で多い。</li> <li>その他、ヒ素・フッ素が 1 ヶ所ずつ基準超過</li> <li>基準超過は少ないがフッ素とホウ素が全地点で検出</li> <li>ダイオキシン類は特管に該当したものはなかったが、土壌環境基準の 1,000pg-TEQ/g を超過した検体が 3 件あった。(いずれも燃え殻の投棄場所である。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>揮発性有機化合物 (VOC) の特管判定基準超過、検出が多い。</li> <li>VOC 以外では第二溶出量基準 (特管判定基準) 超過はないが、ヒ素、フッ素、ホウ素が A, B, D ブロック、六価クロムが D ブロックで検出。燃え殻、汚泥の投棄が原因と思われる。</li> </ul>
A	2	燃え殻	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイオキシン類が土壌環境基準を超過する 1,200 pg-TEQ/g 検出された。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までの調査結果では、鉛が特管判定基準超過していたが、今回の結果、ジクロロタンが特管判定基準を超過した。廃棄物の性状のバラツキが大きいと思われる。</li> </ul>
B	9	燃え殻 パーク 廃油等	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉛の基準超過が多い。燃え殻由来と思われる。</li> <li>ダイオキシン類が土壌環境基準を超過し (2 件) 1,300、1,500 pg-TEQ/g 検出された。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>VOC 汚染が見られ、ジクロロタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレンが特管判定基準を超過している。</li> </ul>
D	3	燃え殻 汚泥 パーク 廃油等	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉛の基準超過が多い。燃え殻由来と思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃油入りドラム缶の投棄が判明している関係で、ジクロロタン、トリクロロエチレンが特管判定基準を超過</li> </ul>
その他	1 1	同上	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 か所で鉛超過</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基準超過なし</li> </ul>